

実施日：2013年9月11日（水）～12日（木）（1泊2日）

見学場所：北海道新幹線新函館駅（仮称）建設現場、函館江差自動車道建設現場など

行程概要：（1日目）札幌→カムイニセイ橋・豊平峡ダム→北海道新幹線新函館（仮称）駅・函館総合車両基地建設現場→五稜郭タワー*・箱館奉行所→最古のコンクリート電柱→函館国際ホテル（宿泊）

（2日目）ホテル→北海道新幹線木古内駅建設現場→北海道新幹線 新幹線在来線分岐点→北海道新幹線木古内大谷地高架橋*→函館江差自動車道大釜谷川大橋・大坪沢川橋→函館江差自動車道茂辺地高架橋*→笹流ダム→函館新外環状道路赤川亀田中野線跨道橋→札幌

参加人数：24名

見学概要（行程概要で下線付きの主要なもの）

- ・カムイニセイ橋（写真1）…豊平峡ダムの管理および観光用道路として施工された片持ち構造のPC橋。プレストレスを効果的に導入するために、魚の背びれ状の部材を持つフィンバック形式を採用。
- ・新函館（仮称）駅建設現場・函館総合車両基地現場（写真2、3）…北海道新幹線の新函館駅（仮称）として在来線の渡島大野駅を併設した駅舎および車両整備基地の工事現場。なお、新幹線の土木工事はほぼ終了。
- ・箱館奉行所…明治維新の函館戦争後に解体されたが、発掘調査、古写真・文献資料等を基に2010年に忠実に再現された木造建築。
- ・北海道新幹線 新幹線在来線分岐点（写真4）…北海道新幹線は、青函トンネルを含む約82Km区間では在来線との供用期間となり、木古内駅の手前で新幹線と在来線が分岐する。写真3の中央部に直線的に新幹線のレールが敷設される予定。
- ・大釜谷川大橋・大坪沢川橋（写真5、6）…函館江差自動車道の橋梁の建設現場。前者は、急傾斜地に構造物を築造する土止め竹割工法が特徴的であり、後者はコンクリートの打設を見学。
- ・笹流れダム（写真7）…水道水源用ダムとして1923年に竣工した日本発のバットレスダム。歴史的価値の高いダムであることから土木学会によって土木学会選奨土木遺産に指定されている。
- ・赤川亀田中野線跨道橋（写真8）…函館新外環状道路の橋梁の一つであり、橋梁形式はポストテンション方式単純PC2室箱桁橋。プレグラウトPC鋼材の使用やグラウト注入時に真空ポンプを併用等の特徴がある。
- ・その他…行程概要に「*」のものは、20周年記念誌『北海道に建設されたコンクリート構造物—2001年から2010年まで—』に記載されている。

謝辞 見学にご協力いただいた函館開発建設部函館道路事務所、（株）田中組、日本高圧コンクリート（株）、鉄道運輸機構並びに北海道旅客鉄道株式会社の皆様に感謝します。



写真1 カムイニセイ橋



写真2 新函館（仮称）駅建設現場



写真3 函館総合車両基地現場



写真4 北海道新幹線 新幹線在来線分岐点



写真5 大釜谷川大橋



写真6 大坪沢川橋



写真7 笹流ダム



写真8 赤川亀田中野線跨道橋